

Q.今の状況を専門家はどのように見ている？

リスク心理学が専門の東京女子大学の広瀬弘忠名誉教授に現在の状況について聞きました。



広瀬弘忠 名誉教授

「行動制限の緩和が続く中でコロナに対する恐怖感がやや薄らいでいて、ワクチンについても再感染のおそれや副反応への懸念などネガティブな要素が非常に強く意識されている」

そのうえで、ワクチンに関する情報発信については。

広瀬弘忠 名誉教授

「プラスもマイナスも含めて正確な情報を伝えていき、その情報がどう受け止められているかきちんと把握した上で、もし副反応などについて誤って捉えられるとすればそれを修正していくのも医療行政や国の役割だ」

「ワクチンには副反応というデメリットもあるが、それ以上に感染や重症化を防ぐメリットがあり、その2つを比べたときにワクチンを打つメリットが圧倒的に大きいということをきちんと伝えて、一般市民の納得と了解を得ることが大事だ」